

研究タイトル

PM コース 矢吹研究室 1242109 三宅琢己

1 研究の背景

僕が本を読んでいた時、たまたま書いてあったことがあった。それは、とある事故が起きて数分後、原因もわからないのとある株式会社の株価が急激に下がった。その数か月後にその株価の下がった株式会社が原因でその事故が起きたと公開された。

これはたまたまなのか？ それか株式市場が賢かったのか？

これを研究したら面白いと思った。

2 研究の目的

株式市場というのは本当に賢く、事故原因というのを誰よりも早く知っているのか。というのを調査する。

3 プロジェクトマネジメントとの関連

ここでは集合知というものが関係してると思う。プロジェクトは複数の人数で行うため、集合知というもの知っておくとマネジメントするときにやりやすいと思う。

4 研究の方法

4.1 L^AT_EX 原稿の書き方

事故を調べる。事故の条件複数の企業がかかわっている・すぐに原因企業が見つからず、あとから判明する・原因の企業が株式会社である

この条件に当てはまる事故をインターネットで検索をかけて調べる。

そしてその原因であった株式会社の株価が事故直後にどうなっているのかを調べる。

4.1.1 参考文献

参考文献は文献ファイルに記述し、`\cite` で引用する。文献の種類によって、必要な項目が異なるため、`biblio.bib` を見て確認すること。

- Wikipedia[1]
- ヤフーファイナンス [2]

細かい注意：L^AT_EX の命令の先頭は「`%`」だが、Web などの資料ではそれが「`¥`」になっていることがある。テキストエディタでは、VL ゴシックのような「`%`」と「`¥`」を区別できるフォントを使うといい。

5 現在の進捗状況

研究内容にマッチしている事故は 4 つ見つかっており、その中で事故原因企業の株価は 3 社出てきた。

6 今後の計画

調べて出てきた結果でポスターをつくる。

1. L^AT_EX の基本的な使い方を確認する。(まずはこの PDF ファイルを再現できることを確認するといい。)

2. 研究テーマを決め，研究する．
3. レジюмеとポスターを書き，pull request する．(やり方は先輩に習うこと．)
4. 矢吹がファイルをマージすれば終了．マージされなかったら 3 に戻る．

参考文献

- [1] 矢吹太郎, 佐久田博司. SQL による数独の解法とクエリオプティマイザの有効性. 日本データベース学会論文誌, Vol. 9, No. 2, pp. 13–18, 2010.
- [2] 矢吹太郎, 増永良文, 森田武史, 石田博之. 知識体系のエリア自動抽出のためのユニット分類手法. 第 5 回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2013). 電子情報通信学会データ工学研究専門委員会, 日本データベース学会, 情報処理学会データベースシステム研究会, 2013.